

令和3年度事業報告

令和4年6月28日提出

社会福祉法人 札幌慈啓会

理事長 太田 眞琴

第1. 事業の状況

1. 令和3年度事業総括	3 頁
2. 法人本部	4 頁
3. 総合相談室	5 頁
4. 研究・研修センター	6 頁
5. 慈啓会養護老人ホーム	7 頁
6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	8 頁
7. 慈啓会ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	9 頁
8. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）	10 頁
9. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）	11 頁
10. 慈啓会短期入所生活介護事業所（ユニット型）	12 頁
11. 慈啓会デイサービスセンター（一般型）	13 頁
12. 慈啓会訪問介護	14 頁
13. 慈啓会介護総合相談センター	15 頁
14. 中央区介護予防センター旭ヶ丘	16 頁
15. 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園	17 頁
16. 稲寿園短期入所生活介護事業所	18 頁
17. 稲寿園デイサービスセンター	19 頁
18. 稲寿園訪問介護	20 頁
19. 稲寿園介護総合相談センター	21 頁
20. 札幌市菊寿園軽費老人ホーム（A型）	22 頁
21. 札幌市拓寿園軽費老人ホーム（B型）	23 頁
22. 慈啓会老人保健施設	24 頁
23. 慈啓会病院	25 頁
24. 啓明ともいき保育園	26 頁
25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所	27 頁
26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所	28 頁

第2. 処務の状況

1. 役員および評議員に関する事項	29 頁
2. 職員に関する事項	30 頁
3. 役員会に関する事項	31 頁

第1. 事業の状況

1. 令和3年度事業総括

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社会福祉	法人本部	法人本部	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。
		総合相談室		相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。
		研究・研修センター		研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム	措置費 介護保険収入 利用者負担金収入	原則として 65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		慈啓会養護特定施設入居者介護事業		
	慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム	措置費 介護保険収入 利用者負担金収入	原則として 65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業		
		ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	委託料	原則として 60 歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。居室：個室（個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等）、原則自炊
	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）		
		慈啓会短期入所施設（ユニット型）		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		慈啓会デイサービスセンター（一般型）		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		慈啓会訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		慈啓会介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	札幌市稲寿園	中央区介護予防センター旭ヶ丘	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。
		稲寿園特別養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		稲寿園短期入所施設		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		稲寿園デイサービスセンター		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		稲寿園訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
	稲寿園介護総合相談センター	在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。		
	札幌市菊寿園	札幌市菊寿園（軽費老人ホーム A 型）	委託料	60 歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。（所得制限あり） A 型：食事付 B 型：自炊
札幌市拓寿園	札幌市拓寿園（軽費老人ホーム B 型）			
慈啓会老人保健施設	入所療養介護	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。	
	短期入所療養介護		老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。	
	通所リハビリテーション		老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。	
慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的かつ適正な医療を行う。 <診療科目> 内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科	
啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後 5 ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。	
公益	札幌市中央区第2地域包括支援センター	中央区第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
	札幌市中央区第3地域包括支援センター	中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。
札幌市中央区第3地域包括支援センター	中央区第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。	
	中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。	

2. 法人本部

基本方針	<ol style="list-style-type: none">1. 法人理念「共生」のもと、社会福祉事業の推進を行った。2. 法人の経営方針及び中長期経営計画の策定を進めた。3. 地域における公益的な取組を実施した。4. 人材確保・育成の視点を持ち、トータルな人材マネジメントを推進した。5. コンプライアンス（法令等遵守）を徹底することに努めた。6. 感染症への対応や災害時等の取り組み及び支援を実施した。
重点目標	<p>【経営全般】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 法人全体および各拠点の経営について分析・把握・管理を行い、健全な財務規律の確立に取り組んだ。2. 将来にわたって安定した法人経営を実現するために 2025 年に向けた中期計画、2040 年を見据えた長期計画の策定を進めるうえで、まずは次世代プロジェクト（次世代幹部候補職員の教育）を開始した。3. 内部コミュニケーションおよび外部コミュニケーションの充実をはかり横断的な組織風土を目指し、組織のガバナンスの強化を進めた。4. 介護ソフト・医療支援ソフト（電子カルテ）の更新・刷新を図り、IT化・ICT化の取り組みを進めた。引き続きIT化・ICT化に取り組むを進める。5. 新型コロナウイルス感染予防対応・災害対応として、長期的な視点で物資・人材・資金において法人全体の事業継続が可能となるよう対策を講じた。 <p>【地域における公益的な取組】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 総合相談室及び各拠点施設が行う地域福祉向上事業を支援した。2. 災害時における福祉施設の広域的な取組を推進する。 （1）自然災害やコロナウイルス感染時等の緊急事態に備え、法人及び各拠点の事業継続計画を策定するため、令和5年9月策定を目指してプロジェクト会議を設置し、計画案の作成を進めた。 （2）石狩・後志・空知地区の要援護者等の支援センター及び拠点法人・施設として、情報集約や連絡調整業務、緊急時機器の配備を行なった。 <p>【人事・職員処遇】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 人材確保対策として従来の求人活動に加えて、介護職員の外国人受け入れの更なる推進、ホームページやSNSを活用した戦略的な人材確保を継続している。2. 働き方改革の方針に沿って、法人内諸制度の改正に向けた協議を継続。特に労働時間管理関連については、法人・拠点間で重要性を理解し新たな制度改正を協議した。3. 人事評価制度や給与制度等の改正に向けた具体的協議を行った。4. 労働安全衛生管理を推進した。法人統括衛生委員会活動の充実を図った。職員を対象とした心の相談室「ひだまり」を運営し、8回開室のべ20人が利用した。 <p>【経理】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 計画的な研修計画および法人ルールの周知を図るとともに、法人の事務担当職員における社会福祉法人会計の基礎実務向上に取り組んだ。（会計担当者研修を2回実施）2. 法人全体における経理規定の周知と遵守を徹底した。 <p>【コンプライアンス・リスク管理】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 法人理念の理解と倫理綱領・法令遵守要領等の周知徹底を図った。2. ハラスメント対応について組織的に実践した。3. 情報管理におけるガバナンスの整備を継続した。 <p>【広報・情報開示】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 様々な情報ツールを活用して法人の発信力の強化を図り、地域における公益的な取り組みの情報公開や求人活動のPR等を通じて、法人のブランディング化を推進した。2. 法人のブランディングを最大目的としたホームページの刷新を検討中。

3.総合相談室

1) 相談受付

①総合相談件数

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計												
電話(直通)	44	44	32	32	27	27	33	33	54	54	64	63	46	46	34	34	3	2	6	6	28	28	42	41	413
来訪	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
その他	0	1	4	1	0	2	1	0	3	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	13
総数	44	33	31	34	56	66	47	34	6	6	29	43	429												

*その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	1	2	4	4	0	2	1	2	1	2	4	4	27
慈啓会病院	2	1	2	0	3	4	1	2	2	1	1	1	20
老健	1	1	2	0	0	3	1	0	0	1	2	1	12
養護	2	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0	3	11
軽費	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
予防センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
ショート	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6
通所サービス	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
生活支援ハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人外施設紹介	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	37	27	25	30	50	57	42	30	1	2	22	0	323
合計	47	33	38	36	56	66	48	34	6	6	30	10	410

2) 見学案内

実施件数:0件

見学者総数:0名

3) 会議参加

	会議名	出席回数		会議名	出席回数
本部	役員会	5	稲寿園	入所判定会議	1
	月例会	8		特養	入所判定会議
	経営会議	11			
	部課長会議	4			
	四役会	7			
	特養感染対策委員会	3			

4) 会議開催

苦情解決第三者委員会(書面)	2
相談員連携会議・勉強会・懇親会	3
旭ヶ丘ミーティング	13
ともいきカフェ	0
コミュニティカフェ	0
地域自主活動支援	0
中央区認知症カフェ定例会	9
統括衛生委員会	11

5) 連携・調整

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
慈啓会特養	16	13	8	12	16	9	10	7	7	4	2	0	104
慈啓会病院	15	10	4	9	13	14	5	6	5	3	2	1	87
慈啓会老健	16	10	9	18	12	5	4	5	11	3	2	0	95
慈啓会養護	8	10	4	6	10	5	3	2	3	2	1	1	55
稲寿園	11	10	5	7	10	4	2	2	5	2	0	0	58
ふれあいの郷	6	8	2	5	10	4	2	3	4	2	0	0	46
軽費(稲寿園・菊寿園)	5	4	0	3	5	3	0	3	1	2	0	0	26
予防センター	2	1	2	1	1	1	1	0	0	2	0	0	11
居宅	1	0	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	7
包括支援センター	10	12	3	9	12	5	6	5	7	2	1	3	75
在宅サービス	1	1	1	3	0	0	0	0	0	2	0	1	9
保育園	6	5	0	1	5	2	1	1	4	2	0	0	27
法人外施設	32	27	21	27	17	21	18	21	24	2	0	0	210
合計	129	111	61	102	112	73	52	55	71	30	8	6	810

6) その他

・広報誌共生発行 7月(9号)、1月(10号)

4.研究・研修センター

- 1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生(ともいき)助成事業」
会議 運営委員会(書面開催) 3回(6月上旬、7月、2月上旬)
審査委員会(書面開催) 2回(6月中旬、2月中旬)
①2021年度助成事業
助成事業公募方法 法人内施設案内、札幌医大、北海道医療新聞、介護新聞、社会福祉士会等で告知
募集応募 5件
助成決定 4件 申請総額 1,697,370円
実績報告 4件 助成総額 1,628,456円
②2022年度助成事業
助成事業公募方法 法人ホームページ、札幌医大研究室案内、介護新聞掲載
北海道医療新聞掲載・北海道社会福祉士会案内・北海道介護福祉士会案内
課題募集期間 2022年4月1日～4月30日
- 2) 研修企画
 1. 法人研修(全体) 開催6回(動画視聴による研修2回含)
 - ・「虐待・行動制限防止について」
講師 北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科 松本 望 氏
開催日・参加者:令和3年5月27日(木)・57名
 - ・「知っているようで知らなかった『認知症』」
講師 江別すずらん病院 認知症疾患医療センター長 宮本 玲子 氏
開催日・参加者:令和3年9月14日(火)・83名
 - ・「ワクチン接種と行動制限緩和から今後の医療・福祉の現場対応を考える」
講師 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 講師 石角 鈴華 氏
開催日・参加者:令和3年10月7日(木)・80名
 - ・「ストレスチェックの傾向からみる札幌慈啓会の課題とメンタルヘルス」
講師 札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏
開催日・参加者:令和3年11月10日(水)・88名
 - ・「権利擁護について」
講師 社会福祉法人栄和会 特別養護老人ホーム ひらおか梅花実 施設長 三井 弘巳 氏
開催日・参加者:令和4年1月13日(水)・87名
 - ・「介護・医療事業者の安全運転の習慣と雪道運転および駐車のポイント」
講師 東京海上日動火災保険株式会社 専門講師 尾崎 氏
開催日・参加者:令和3年12月16日(木)・64名
 - ・「事故発生防止について～ヒューマンエラーと医療介護の安全」
講師 SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部 関根 公国 氏
開催日・参加者:令和4年2月15日(水)・87名
 2. 役職者その他研修 開催1回
 - ・「次世代との未来共創～札幌慈啓会に必要なもの～」
講師 札幌慈啓会 専務理事 今 真一 氏
開催日・参加者:令和3年8月24日(火)・13名
 - ・「札幌慈啓会の人事考課制度と評価の着眼点」
講師 札幌慈啓会 法人本部 総務部長 笠井 和人 氏
開催日・参加者:令和3年1月14日(木)・37名
 - ・「次世代プロジェクト」 1月20日、2月17日、3月17日 3回開催
 3. 令和3年度 新採用者オリエンテーション コロナ禍のため実施せず
- 3) 国内派遣研修・海外研修 国内派遣研修・海外研修ともにコロナ禍のため実施せず
- 4) その他 ・介護職員初任者研修 コロナ禍のため実施せず

5. 慈啓会養護老人ホーム(定員80名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢					年度内入退所		年度内入院者		
		(年度末現在)					入所	退所	慈啓会	その他	
男	14	最低	71	最高	90	平均	82.2	2	3	2	4
女	62	最低	75	最高	102	平均	88.1	7	10	13	12
計	76					平均	86.9	9	13	15	16

・在籍率 99.7%(毎月1日現在在籍数) ・利用率 98.9%(在籍延日数)

(2) 防災訓練実施状況

・防災訓練(夜間想定) R3/4/14・9/27

※例年実施している札幌防災協会立会の検証訓練及び土砂災害想定訓練は、コロナ禍のため見送り。

(3) 行事・クラブ実施状況

定例 ・歌クラブ、すこやか体操、誕生会、園内喫茶、防災訓練、炊き出し訓練、折り紙教室を行った。
・懇談会はウイングごとに実施し月行事の確認や感染予防等の注意喚起、誕生者のお祝いを行った。

季節行事

・ビデオ鑑賞会、買い物バスレス、養護夏祭り(抽選会)、盆の日アイス、敬老祝賀会、クリスマス食事会年越し会、新年会、獅子舞、書初め、ゲーム大会(みかん提供)、節分豆渡しの実施。

(4) 給食実施状況

- ・給食時間 朝7:00～ 昼11:20～ 夕17:00～食事時間を3部に分けて入れ替え制とした。
- ・非常用保存食を9食、ローリングストックを3食、間食を5食とそれぞれ増やした。
- ・入所者からの要望があり、カウンターで熱い味噌汁が提供できるように工夫した。
- ・行事食は嚥下困難な入居者も楽しめるように、既製品を取り入れた。

(5) 保健衛生実施状況

- ・慢性疾患治療と重度化予防のため、内科医と精神科医の定期診察に加え、外部の整形外科及び歯科による往診を実施した。
- ・心身の状況把握のため健康診断に長谷川式簡易知能評価スケールを依頼した。
- ・covit-19等の感染予防のためうがい、手洗い、マスク着用を徹底し、異常の早期発見と対応に努めた。

(6) 職員研修実施状況

- ・法令に則った事故防止等必要な施設内研修の実施と、Webによる感染症対策等の法人研修に参加した。

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

- ・なし

(8) 主要委員会

- ・事故防止委員会・感染等対策委員会・行事委員会(12回)身体拘束廃止対策委員会(4回)、広報紙発刊(3回)

(9) 事故発生状況

- ・札幌市事故報告提出(転倒5件、骨折6件、誤薬3件、その他2件)16件
- ・ヒヤリハット報告(転倒、ずり落ち、その他)67件

(10) 苦情の状況等

- ・なし

(11) 数値目標に対しての結果について

- ・特定のサービス利用がコロナの影響で落ちたこともあり年間の介護報酬が目標の3,700万円にわずかに届かなかったが、一般と特定を効率よく配分し一般入所者数平均60.5名を維持することは出来た。又、毎月一日付在籍者80名の確保は3月が77名となった事で未達の結果となった。

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢						年度内入退所		年度内入院者	
		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	14	最低	73	最高	91	平均	82.3	2	1	1	10
女	84	最低	67	最高	100	平均	86	10	10	18	48
計	100					平均	86.3	12	11	19	58

・平均稼働率 99.92%(毎月1日現在在籍数) 96.23%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練実施 ①11月10日 ②12月8日(夜間火災検証訓練) ③2月18日(水害想定訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

・行事:園内喫茶(4回)、ミニ夏祭り、敬老昼食会、クリスマス喫茶、節分お菓子の配布、すきやきの日、年越しごちそうの日、新年ごちそうの日、ひな祭りごちそうの日、開設記念日ごちそうの日、北海道神宮祭ごちそうの日、誕生会(毎月)

・クラブ活動:ゲートボール(火曜)、書道(水曜)、カラオケ(第1・3金曜)、転倒予防(第2・4金曜)

※コロナウイルス感染拡大のため(令和2年12月～令和3年6月まで中止)

(4) 給食の実施状況

・入居者の食状態を他セクションと共有しながら、食事提供への対応を行った。

・委託スタッフと連携しながら、感染症対策および、見た目やバランスに配慮した行事食への工夫を行った。

(5) 保健衛生

・年2回の定期健康診断により、早期発見時および進行所見時は体調の変化等を嘱託医にこまめに報告し効率よく診察を実施できた。又、他病院の受診時は適切にデータや診療情報等を提供することができた。

・集団感染のリスクや感染予防方法について、繰り返し懇談会等で入居者に説明周知を行った。

・新規入所時はコロナウイルス抗原検出キットを実施し、数日間の個室対応等感染防止対策を行った。

・入居者のノロウイルス、インフルエンザ・コロナウイルス等の感染症は発生しなかった。

・入居者家族、職員、職員家族にも体調不良がないか早期発見に努め、感染症の発生を最小限に抑えた。

(6) 職員研修実施状況

・法人研修(10回)・職場内研修(11回)・外部研修(5回)

困難事例検討会・取組報告会、社会福祉法人会計基準実践的決算講習

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕含む)

・大規模修繕による建物・器具及び備品、業務用乾燥機、TV、シュレッダー

(8) 主要委員会

・防災 3回(避難訓練の反省) ・給食 12回 ・事故防止対策 4回 ・研修 1回

・行事 3回 ・苦情 0回 ・感染症対策 8回 ・広報 1回

・職員会議 12回 ・身体拘束 4回 ・虐待防止 4回

(9) 事故発生状況

・転倒 8件(内 骨折5件) ・離設 1件 ・誤薬 2件 ・異食 1件

(10) 苦情の状況等

・0件

(11) その他

①メンタルケア

・北海道ボランティアドッグの会によるアニマルセラピーと、慈啓会特養で開催している。定期演奏会への参加は感染予防のため実施せず。

②地域との交流状況

・町内会との植栽活動 ・地域行事への協賛 ・地域交流センター利用の積極的受入れ。

・近隣幼稚園との交流

・近隣中学校、高校からの職場体験の受け入れ。(感染予防のためいづれも見送り。)

③ボランティア活動(計0件 延人数:0名)

(行事手伝い等作業奉仕:0名、傾聴:0名、クラブ活動等指導奉仕:0名、音楽演奏等訪問:0名)

④その他

・入居者、職員で地域のゴミ拾い活動は、感染予防のため実施せず。

【数値目標に対しての結果について】

・退所から入所までの平均空室期間目標を、10日未満としたが17日となり達成しなかった。

・特定サービス収入を年間平均額314万円以上としていたが、338万6千円となり達成した。

7. 慈啓会ふれあいの郷 高齢者生活福祉センター(定員20名)

(1) 利用状況等												
	在籍者数		年齢					年度内入退所		年度内入院件数		
	(年度末現在)		(年度末現在)					入所	退所	慈啓会	その他	
男	1	最低	73	最高	73	平均	73	0	0	0	0	
女	18	最低	66	最高	88	平均	76.83	2	1	0	5	
計	19						平均	76.63	2	1	0	5

・平均稼働率 95.42%(毎月1日現在在在所数) 95.48%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練3回実施(養護と合同及びシミュレーション)
 第1回. 11月10日 第2回. 12月8日(夜間想定検証訓練)
 第3回. 2月18日(水害避難訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

定 例 ・懇談会・開園記念昼食会(居室配膳)・ゲートボール(毎週1回)
 ・書道(毎週1回)・転倒予防体操(毎月2回)・食糧品等買い物日(毎週1回)
 新型コロナウイルスの対応を行う。(6月まで買い物日以外クラブの中止)

季節行事 ・お花見昼食会・夏祭り昼食会・敬老の日昼食会・忘年会・新年昼食会・節分
 ・ひな祭り昼食会(新型コロナウイルスの対応で会食は敬老会・忘年会を居室配膳とした。)

(4) 給食の実施状況

R3年5/10～5/30及び6/22～6/30・R4年1/27～2/3 (体調不良者)

(5) 保健衛生

年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
 季節型インフルエンザ・新型コロナ予防接種を行うほか、新型コロナウイルス対応を行なった。
 (外出・クラブ活動の制限等)
 手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況

法人職員研修 (4回) 内部研修 (12回) 外部研修 (0回)

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

全居室のトイレをウォシュレットに交換した。

(8) 苦情の状況

懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や苦情委員会に寄せられる苦情等は0件です。

(9) その他

園芸活動活動は改修工事のため。動物介在活動・拓寿園交流ゲートボール大会は新型コロナウイルスの対応で中止となる。

8.慈啓会特別養護老人ホーム（従来型:定員70名）

(1)利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退年度内入院				介護度 (年度末現在)	
		最低	59	最高	93	平均	81.1	入 所	退 所	慈 啓	そ の	男	女
男	9							4	3	3	2	3.88	
女	62	最低	72	最高	103	平均	89.1	23	22	39	1	3.95	
計	71					平均	88.1	27	25	42	3	3.94	

・年間平均稼働率 95.7%(1年間の現在数(入院者・外泊者を除く)÷定員×365日)

(2)防災訓練実施状況 ①1月(4施設合同*老健担当・防火):夜間想定 ②3月:昼間想定→書面

(3)行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 定期演奏会(札幌) ※コロナの影響で開催されず
イトーヨーカドーふれあいショッピング ※コロナの影響で商品配達方式
- ②季節行事 御施餓鬼法要 ※コロナの影響で開催されず
- ③地域交流・家族交流会等行事
夏祭り(特養拠点のみ施設内で実施)、敬老の日家族交流会(※コロナの影響で開催されず)
- ④その他行事 (買物・食事外出) ※コロナの影響で開催されず
(散策外出) ※コロナの影響で開催されず
(室内行事)納涼会・おやつ作り・茶話会・ハロウィン・セタク・神社レク・大人の塗り絵
宝引レク・節分

(4)給食の実施状況

- ①入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ②褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③厨房設備の点検修理(配膳車、スチームコンベクションオープン、ミキサー)
- ④多職種連携により、適切なマネジメントのもと、各種加算の算定に努めた

(5)保健衛生

- ①新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ②家族面会については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置以外には、防護シートを配備するなど感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(6)職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等
外部研修には老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等、コロナの影響でZOOMでの参加が多かった

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

車輛(スズキエブリィワゴン)買取

(8)主要委員会の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(9)事故発生状況(ユニット型・従来型合計)

転 倒		転 落		ずり落ち		外 傷		誤 嚥		異 食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
28	21	7	7	7	27	13	14	0	0	0	6
離棟離設無		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
2	0	1	0	1	0	17	3	28	44	104	122

札幌市報告対象の事故

ユニット型	13
従来型	7

A=アクシデント I=インシデント

(10)苦情の状況等

0件

(11)その他

- ①ボランティア コロナの影響で外部開放なし
- ②世代間交流 コロナの影響で外部開放なし
- ③見学 コロナの影響で外部開放なし
- ④実習・体験学習 養成校の実習生については、通所事業のみ受け入れを可能として、リハビリ養成校の3校15名実習生受け入れを行った。
- ⑤木洩れびの家 コロナの影響で外部開放なし

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家 族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実習生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(12)数値目標

(目標) 稼働率98.4%、平均介護度3.95

→ (実績) 稼働率95.7%、平均介護度3.99 = 稼働率-2.7%未達成、介護度 -0.04未達成

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型：定員80名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所 入所 退所 慈啓会 その他				介護度 (年度末現在)		
		最低	55	最高	93	平均	77.3	0	2	4	2	男	3.50	
男	12													
女	67	最低	65	最高	103	平均	90.5	22	21	36	13	女	3.94	
計	79					平均	88.5	22	23	40	15	平均	3.87	

・年間平均稼働率 94.7% (1年間の現在数(入院者・外泊者を除く) ÷ 定員 × 365日)

(2) 防災訓練実施状況 ①1月(4施設合同*老健担当・防火):夜間想定 ②3月:昼間想定→書面

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定例行事 定期演奏会(札幌) ※コロナの影響で開催されず
イトーヨーカドーふれあいショッピング ※コロナの影響で商品配達方式
- ② 季節行事 御施餓鬼法要 ※コロナの影響で開催されず
- ③ 地域交流・家族交流会等行事
夏祭り(特養拠点のみ施設内で実施)、敬老の日家族交流会(※コロナの影響で開催されず)
- ④ その他行事 (買物・食事外出) ※コロナの影響で開催されず
(散策外出) ※コロナの影響で開催されず

(室内行事) 納涼会・おやつ作り・茶話会・ハロウィン・セタレク・神社レク・大人の塗り絵
宝引レク・節分

(4) 給食の実施状況

- ① 入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ② 褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③ 厨房設備の点検修理(配膳車、スチームコンベクションオープン、ミキサー)
- ④ 多職種連携により、適切なマネジメントのもと、各種加算の算定に努めた

(5) 保健衛生

- ① 新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ② 家族面会については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置以外には、防護シートを配備するなど感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等
外部研修には老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等、コロナの影響でZOOMでの参加が多かった

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

GHPエアコン1期工事 / 簡易特浴(本館2階) / リフト付シャワーキャリー装置(本館2階Aユニット)

(8) 主要委員会の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(9) 事故発生状況(ユニット型・従来型合計)

転倒		転落		すり落ち		座り込み		変色		腫れ	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
42	51	9	16	5	8	0	1	20	57	1	0
擦り傷		出血		痛み		誤薬		その他		合計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
12	7	25	4	0	0	37	5	45	28	196	177

札幌市報告対象の事故

ユニット型	13
従来型	7

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等

0件

(11) その他

- ① ボランティア コロナの影響で外部開放なし
- ② 世代間交流 コロナの影響で外部開放なし
- ③ 見学 コロナの影響で外部開放なし
- ④ 実習・体験学習 養成校の実習生については、通所事業のみ受け入れを可能として、リハビリ養成校の3校15名実習生受け入れを行った。
- ⑤ 木洩れびの家 コロナの影響で外部開放なし

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実習生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(12) 数値目標

(目標) 稼働率96.0%、平均介護度3.95

→ (実績) 稼働率94.7%、平均介護度 3.89 = 稼働率 -1.3%未達成、介護度 -0.06未達成

10.慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

(1)利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度								
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計
男	90	284	5.18	4	1	8	65	4	0	8	0	90
女	411	2,319	5.18	0	6	92	145	84	60	24	0	411
計	501	2,603	5.18	4	7	100	210	88	60	32	0	501

(2)食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
394	345	739	2,393	2,817	2,420	7,630

(3)防災訓練実施状況

①1月(4施設合同*老健担当・防火):夜間想定 ②3月:昼間想定→書面

(4)行事・クラブの実施状況

夏祭り(特養拠点のみ施設内で実施)、敬老の日家族交流会(※コロナの影響で開催されず)
(室内行事)納涼会・おやつ作り・茶話会・ハロウィン・七夕レク・神社レク・大人の塗り絵

(5)給食の実施状況

.....

- ①入所同様誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)、おやつレクの実施
- ②療養食加算の算定
- ③厨房設備の点検修理(配膳車、スチームコンベクションオープン、ミキサー)

(6)保健衛生

- ①新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ②家族面会については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置以外には、防護シートを配備するなど感染対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(7)職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等
外部研修には老施協研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等、コロナの影響でZOOMでの参加が多かった。

(8)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

送迎用車両 トヨタ ハイエース(リース資産)

(9)各委員会等の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(10)事故発生状況

転倒	転落	ずり落ち	外傷	誤嚥	異食	合計	
A I	A I	A I	A I	A I	A I	A	I
3	0	0	0	0	0	3	0

無断外出	凍傷	暴力	誤薬	その他	合計	
A I	A I	A I	A I	A I	A	I
0	0	0	0	0	0	0

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

短期	1
----	---

(11)苦情の状況

なし

(12)数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率 80.1% = +0.1% 達成

※新型コロナウイルスの影響で2月半月クローズしたが、その他の月でカバーし年間目標を達成した。

11. 慈啓会デイサービスセンター(一般型)

[1] 利用状況 (令和4年3月末日現在)

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	11	15	41	14	8	4	1	94
延利用数	98	180	520	292	58	27	0	1,175

[2] 年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	50
廃止利用者	38

[3] 年齢(令和3年3月末現在)

	在籍者	最低	最高	平均
男	23	71	93	85
女	86	62	102	88
合計	109			87

[4] 稼働率

	平均/定員	稼働率
一般型	25.9人/35名	74.1%

新規内訳	
慈・居宅	18
2 包	10
3 包	10
他 事	12

廃止内訳	
施設入所	18
入院継続により打ち切り	10
逝去	3
転居	1
他サービス利用	4
その他	2

[5] 苦情数・事故数

苦情数 — 0 件
事故数 — 24 件

[6] 行事の実施状況

誕生会(毎月1週間) ・風呂の日 (毎月第4週目の1週間)

- ・5月 茶話会
- ・7・8月夏祭り 9月 敬老週間
- ・10月 収穫祭 ・12月 クリスマス会
- ・1月 新年会

<毎月>

- ・月替わり体操&ゲーム(毎日) ・個別機能訓練(毎日)

[7] 行事食の実施状況

- ・誕生会食 ・夏祭り ・敬老会食 ・クリスマス会食 ・新年会(鍋)、節分食、ひな祭り食、開設記念食

[8] 実習生受け入れ状況

- ・介護福祉士等実習生 0名/介護等体験職場実習 0名

[9] 数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率74.1% = 稼働率 -5.9%未達成

12. 慈啓会訪問介護

1. ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	6	6	6	6	6	6	7	6	6	7	7	7
合 計	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10

2. 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員												
	延利用数												
要支援 1	31	30	29	31	29	29	28	28	28	28	28	30	29
	134	121	139	135	134	128	125	129	127	113	114	147	1,546
要支援 2	30	30	29	29	30	29	29	30	29	29	30	28	29
	147	133	137	158	147	146	138	141	132	124	116	145	1,664
要介護 1	19	17	19	18	19	17	18	18	17	17	17	17	18
	93	95	108	98	99	100	102	104	94	85	85	107	1,170
要介護 2	15	14	13	13	13	12	11	10	11	9	8	8	11
	101	89	93	102	82	85	75	73	79	48	41	53	921
要介護 3	2	2	3	2	0	0	0	0	0	1	1	2	1
	7	9	16	14	0	0	0	0	0	14	9	15	84
要介護 4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	1
	0	0	0	0	0	0	3	5	4	4	11	13	40
要介護 5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2
	14	12	17	18	18	16	17	18	16	17	19	21	203
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
	6	6	6	6	5	7	6	6	7	6	4	2	67
合 計	103	98	98	98	96	91	91	91	90	90	91	91	94
	502	465	516	531	485	482	466	476	459	411	399	503	5,695

3. 派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均件数
総合事業相当型	303	249	283	298	285	282	267	275	264	246	231	295	273
身体介護	36	33	39	21	19	19	23	23	22	19	25	37	26
生活援助	56	46	53	63	60	61	60	60	66	58	60	70	59
身体生活	121	108	145	153	124	125	119	119	107	94	78	95	116
合 計	512	467	525	540	493	491	469	477	459	417	394	497	478

4. 研修・会議等の実施

・月1回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	今年度の研修について	
5月	介護手順書の意味を理解する	
6月	できる可能性を考える（ICFの理解）	
7月	目標に沿ったケアを考える①	
8月	目標を意識して手順書内容を書く	
9月	留意点を考える	知っているようで知らなかった「認知症」
10月	留意点を活かしたケア内容	
11月	他者の手順書を見てGW（共通理解）	
12月	目標に沿ったケアを考える②	安全運転講習会
1月	目標を意識して手順書内容を書く	権利擁護について
2月	留意点を考える	事故防止について
3月	1年を振り返り手順書の必要性を考えるGW	

・自己研鑽のための研修参加

4. 数値目標

（目標）利用者実績の平均人数 100.0人 → （実績） 94人 = 未達成

13. 慈啓会介護総合相談センター

(1)ケアプラン作成者件数

契約者合計
140.3人 (令和4年3月末日現在)

(2)契約者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	7	4	5	6	7	9	1	3	8	3	1	3	57
解約者	1	2	4	3	2	6	2	2	3	1	0	1	27
内 訳	死亡	0	2	3	1	0	4	1	1	0	1	0	14
	入院	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	5
	入所	0	0	0	1	2	1	0	0	2	0	0	6
	転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
契約者合計	291	293	294	297	302	189	188	189	194	196	197	199	

(3)ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	64	64	62	68	71	76	76	75	74	70	68	69	837
要介護2	42	43	40	44	40	39	39	36	39	40	37	37	476
要介護3	19	19	20	18	19	21	23	21	21	18	21	23	243
要介護4	6	6	6	7	8	7	6	7	7	7	7	9	83
要介護5	2	2	4	3	4	3	4	3	4	5	5	5	44
合 計	133	134	132	140	142	146	148	142	145	140	138	143	1,683

(4)要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
1	64

(5)相談経路

電話(夜間・祝日)	来 所	訪 問	合 計
1,312 (105)	17	1,897	3,226 (105)

(6)活動状況

①情報伝達会議・研修

会議	46
研修	60

②サービス担当者会議

	197
--	-----

(7)予防支援事業

実施していません。

14.介護予防センター旭ヶ丘

(1)総合相談支援業務

【総合相談】

①相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
49	0	0	3	52

②相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	高齢者虐待	消費者被害	権利擁護	認知症	心身の健康	家族の疾病
13	33	1	0	0	0	3	2	1

医療	住まい	その他
0	3	1

③相談結果

継続支援へ	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終結
10	26	0	0	6	3	7

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	1回
区地域ケア推進会議(運営主体)	0回
地区連絡会議(運営主体)	7回
区連絡会議(運営主体)	10回
専門職との連携	4回
医療機関との連携	2回
地区組織との連携	18回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	25回
生活コーディネーターとの連携	2回

(2)介護予防普及啓発業務

①事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	広報物の発行	文書や通信での支援	計	参加者延数
54	0	0	19	1	73	2046

(3)地域介護予防活動支援業務

①介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	0	0	0	8	71	0	79	1,085

(4)自主活動化支援事業

開催回数	参加者数	内容
2	12	技術指導・交流会

(4)専門職と連携した介護予防機能強化業務

新規立ち上げ支援箇所数	既存団体支援箇所数
1	4

(5)数値目標

(目標)委託契約書に記載の事業実施回数目安の達成

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ①介護予防教室/地域活動組織の育成及び支援 | (目標)48回→(実績)125回=達成 |
| ②自主活動化支援事業 | (目標)2回→(実績)2回=達成 |
| ③地区地域ケア会議 | (目標)1回→(実績)1回=達成 |

(6)その他

- ・研修会 市内介護予防センターとの学習会 3回 専門職との研修会 (リハ2回 栄養1回 口腔1回)
札幌市主催 サッポロスマイル体操指導者講座
- ・区連絡会議、予防センター連絡会議 計27回

15.特別養護老人ホーム札幌市稲寿園(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	73	最高	92	平均	84.1	入所	退所	慈啓会	その他	男	3.93
男	14	最低	73	最高	92	平均	84.1	7	7	5	7	男	3.93
女	84	最低	70	最高	106	平均	89.2	31	33	21	19	女	3.91
計	98					平均	88.5	38	40	26	26	平均	3.91

・平均稼働率 90.1% (R2年度 96.9%)

【説明】令和3年度の平均稼働は、90.1%の稼働と目標を大きく下回ったが、入院者が前年度比で1.13倍と多かったことが要因である。また相談員が2名体制であったことも稼働率の向上に影響があったと考えられる。

(2) 防災訓練実施状況

- 3月19日(自衛消防訓練)、3月23日(防災訓練・夜間想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

○全体行事

令和3年度の行事は、9/17の敬老行事、12/28のもちつき、1/4獅子舞・おみくじのみ開催。コロナ感染拡大もあり、開催が難しい現状が多くあった。敬老行事については、記念表彰のみ開催。もちつきについては、各階に分けて開催。

○地域交流・家族交流会等行事

コロナ感染拡大により実施できず。

○ユニット行事

- ・お茶会(ハロウィン、クリスマス)
- ・誕生会

(4) 給食の実施状況

他セクションとの連携と適切な調理業務の継続に努め、2021年度の栄養関係功労者(特定給食施設)厚生労働大臣表彰を受賞することができた。また、冷凍冷蔵庫の更新により作業効率および衛生管理面の向上を図ることができた。

(5) 保健衛生

面会については、しばらく中止していたパネル越し面会を令和3年10月から実施するも、年明けの感染拡大により令和4年1月17日より再び制限した。

タブレットによる面会については、令和3年4月より来園いただいていたタブレット面会を実施。令和3年6月からはLINEのよるビデオ通話による面会を実施している。

入所に関しては、1週間前の健康チェック(症状の有無や2回/日の検温の依頼)と入所直前に慈啓会病院でのPCR検査後に実施。ショートステイに関しては、1週間前の健康チェック(症状の有無や2回/日の検温の依頼)を行い、症状等がなかった時は受け入れを行った。感染拡大していた令和4年1月から3月頃には、ショートステイ利用前の抗原検査も実施して受け入れを行っていた。また入所とショートとの距離を確保するため、多床室においては空床利用を実施せずに対応、食事席については、ショート専用の食事席を設け、感染拡大に努めた。

(6) 職員研修実施状況

令和3年 6月30日新型コロナウイルス感染症研修会、7月20日札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会 全体研修会
9月23日、10月15日 施設職員スキルアップ講座(管理職、新任職員) … 等 (全22件)

(7) 委員会等の開催

- ・各部署会議、毎日のミーティング等を通じ、情報共有と周知徹底を図ることができた。
- ・各委員会を通して専門性を活かし、サービスの質の向上に努めることができた。
- ・定期的・臨時的なカンファレンスを開催することで、個別性を活かした介護を提供することができた。

サービス提供に努めた

○定期開催委員会(毎月・隔月)

コロナ感染拡大による行動制限区域により書面開催となった。

(8) 固定資産取得状況等

- ・固定資産取得・・・冷凍冷蔵庫
- ・修繕・・・エレベーター基盤取替、玄関自動ドア、エアコン、1F洗面台、洗濯乾燥機、天井ベースライト、厨房吊戸、ろ過機等

(9) 事故発生状況

転倒、転落:48件、皮膚変色、出血:30件、誤薬:1件、異食:0件、誤嚥:0件、他:1件 合計:80件

(10) 苦情の状況等

今年度はなし。

(11) その他

- ①ボランティア コロナ感染予防対策により受け入れしておらず
- ②交流 コロナ感染予防対策により受け入れしておらず
- ③実習・体験学 北翔大学:1名、大原専門学校:1名

(12) 数値目標

(目標)稼働率 (目標)稼働率 97.0%、平均介護度 4.00 →(実績)稼働率 90.1%、平均介護度 3.91
= 稼働率 -6.9% 未達成、平均介護度 -0.09 未達成

16.稲寿園短期入所生活介護事業所(定員10名)

(1)利用状況等

	利用 総人数	利用 総日数	平均 利用日数	利用者介護度								送迎 回数	食事数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	44	353	8.02	0	2	0	30	3	6	3	44	628	1,621	1,955	1,635
女	192	1,620	8.44	3	1	25	67	55	26	15	192				
計	236	1,973	8.36	3	3	25	97	58	32	18	236				

・月平均稼働率 54.1% (R2年度 66.1%)

【説明】 令和3年度の平均稼働は、54.1%と目標を下回った。コロナ禍における空床利用を活かすことができなかったことや、土曜日や、祝日の稼働がなく、週末の虫食いを埋めることができなかったこと、ロングショートを受け入れをしていないことが要因と考えられる。

- (2)防災訓練実施状況
 - (3)行事・クラブの実施状況
 - (4)給食の実施状況
 - (5)保健衛生
 - (6)職員研修実施状況
- } 特養と同内容のため省略

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし

(8)事故発生状況
転倒・転落 4件、アザ・出血1件、誤薬0件、異食0件、誤嚥・誤飲0件 計5件
札幌市報告件数:1件

(9)苦情の状況等
今年度は無し

(10)その他 特養と同内容のため省略

(11)数値目標
(目標)稼働率 70% → (実績) 54.1% = -15.90% 未達成

17.稲寿園デイサービスセンター

(1) 利用状況等

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
開設日数		26日	26日	26日	27日	27日	26日	26日	26日	25日	24日	24日	27日	310日	311日	
予防通所登録者数		20	17	17	19	18	19	20	21	20	18	18	19			
予防延利用者数		90	72	69	91	109	96	97	92	84	82	78	88	1,048	1,080	
予防平均利用者数		3.5	2.8	2.7	3.4	4.0	3.7	3.7	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.5	
通所介護登録者数		86	86	86	87	84	84	85	87	86	87	87	87			
通所介護延利用者数		414	323	346	377	370	406	392	386	387	359	329	402	4,491	5,363	
通所平均利用者数		19.7	15.5	16.0	18.2	17.3	19.3	18.8	18.4	18.8	18.4	17.0	18.2	18.0	18.1	
利用者数内訳	要支援	1	20	16	17	28	46	34	32	27	25	22	20	24	311	389
		2	70	56	52	63	63	62	65	65	59	60	58	64	737	691
	要介護	1	168	140	148	169	168	186	197	207	197	174	148	189	2,091	3,874
		2	169	131	126	134	127	109	99	94	83	83	88	92	1,335	2,370
		3	60	38	55	57	60	93	83	69	92	87	81	102	877	1,656
		4	13	11	13	13	12	14	10	12	12	12	9	15	146	268
		5	4	3	4	4	3	4	3	4	3	3	3	4	42	77

【説明】

- ① 予防と一般を含めた年間を通しての1日の平均利用者数は18.0人であった。(昨年度より0.1人減)
- ② 年間延利用者数は、利用日数の1日↓を考慮しほぼ同数。
- ③ 令和3年度は新規登録者が26名、廃止は28名であった(令和2年度は新規18名、廃止28名)。
長きに渡りご利用されていた方の廃止(死去・入所)が多かった。
- ④ 今季は、コロナ感染予防の休止が平均8名/週と多く、年間稼働率も56.2%と目標75%には大きく届かなかった。
- ⑤ 職員の退職及び入院による休みも多く、仕事の割り振りに苦労した1年であった。
- ⑥ LIFE科学的介護推進評価加算算定開始
(3か月分割で記録を作成しその後全員算定。年間40単位×約733実利用者人数)
- ⑦ 1昨年からサービス提供体制加算取得に苦労していたが、1名有資格者増員と1名介護福祉士資格取得にてほぼ問題はなくなった。
- ⑧ 個別訓練加算は1昨年下半年より専従機能訓練指導員で算定開始。
昨年度実績は個別機能加算延べ232名/月 運動機能は16人/月実施

(2) 防災訓練実施状況 【1回】

- ① 3月17日(木)

(3) 行事実施状況

- ・誕生会は毎月実施したが、花や記念品(写真撮影)の贈与のみの実施としている。
 - ・屋外レクリエーションやカラオケも感染対応として今年も中止している。(DVD鑑賞のみ)
 - ・給食協力によるお楽しみの御膳及びパンセレクト、花見・敬老・クリスマス等の特別メニューの提供は変わらず行っており、介助を要する方は昨年より増えたが、皆様良く召し上がって下さっている。
 - ・ゲームや職員の出し物等は、座位での参加は継続しているが、CWの工夫で変化のある内容で提供できている
- ※基本、昨年に引き続き、屋外行事は新型コロナウイルス蔓延の為、全て中止しております。

(4) 給食の実施状況

委託会社、管理栄養士の協力を頂きながら、四季折々の季節感ある食材を使用し、彩りや盛りつけを工夫した食事の提供を心掛けた。利用者の反応は良好であった。

(5) 研修実施状況

- ・事故防止研修(オンライン) 感染予防研修

(6) その他

- ・青色パトロールとして「手稲鉄北まちづくり協議会」部会員としての活動を継続している。
- ・ボランティア実績は今年もなし。

(7) 固定資産取得状況等

- ・なし

(8) 数値目標

(R3年度目標)平均利用者数 24.0名/日、年間稼働率 75% (実績)平均利用者数 18.0名/日、年間稼働率 56.3%
 = 平均利用者数 -6.0名/日 未達成、年間稼働率 -18.7%未達成
 ※ R4年度目標 22.0名/日 年間稼働率 68.8%
 ADL維持加算(I)算定開始予定 30単位×約70名×12ヶ月

18. 稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

【説明】職員減少のため派遣回数は減少、派遣時間については1件1件精査し対応している

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	154	142	148	156	163	187	196	183	175	171	174	214	2,063
令和2年度	202	185	165	195	192	180	181	130	141	136	147	155	2,009

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	144.0	126.8	130.5	134.2	127.1	161.6	175.1	164.8	171.2	161.7	166.2	199.5	1,862.7
令和2年度	184.5	173.0	150.5	179.5	172.5	163.0	162.5	118.5	130.0	125.0	131.0	146.0	1,836.0

(2) 介護度別利用者状況

【説明】職員減少のため受け入れ困難でしたが登録ヘルパー増員にて、今後受入れていく予定です。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	15
	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	4	6	23
要介護	1	8	8	8	7	8	11	10	12	13	15	11	11	122
	2	3	3	3	4	4	4	5	4	4	4	5	5	48
	3	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	3	36
	4	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	19
	5	1	1	1	1	1	1	1						6
合計		21	21	21	20	21	24	24	25	23	27	25	29	281

(3) 職員研修・カンファレンス状況

- ① 定期研修 : 毎月1回実施
- ② カンファレンス : 毎月2回実施

(4) 数値目標

(目標)月の目標派遣回数 140回以上、月の登録件数30件 →(実績)派遣回数 171回、登録件数 31件
 = 派遣回数 +31回 達成、登録件数 +1達成

19. 稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談対応方法

【説明】コロナ感染の状況により訪問を控える月があった。

(単位:人)

令和 03 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内訳	訪問	174	127	158	170	172	170	210	176	186	152	120	178	1,993
	来所	2	6	1	1	1	2	3	4	4	3	1	1	29
	電話	126	158	167	164	129	151	97	130	92	115	155	127	1,611
合計		302	291	326	335	302	323	310	310	282	270	276	306	3,633

(2) 契約者推移

【説明】解約者が少なく、契約者は増加している。

(単位:人)

令和 03 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約者		4	2	4	2	3	6	4	3	2	4	4	3	41
解約者		3	2	2	1	1	1	3	1	1	1	2	1	19
内訳	死亡	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	6
	長期入院	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	6
	入所	2	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	6
	転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
契約者合計		237	237	239	240	242	247	248	250	251	254	256	258	

(3) 相談経緯・件数

【説明】手稲区包括からの紹介が多かった。

(単位:人)

令和 03 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手稲区第1包括							2		1		4	1	1	9
手稲区第2包括		1	2		4		2	2	4	2	3	2	1	23
中央区第2包括		1				1								2
中央区第3包括														0
本人・家族		1			1	4	1	2			2	3	1	15
病院			1	2			1							4
他事業所			2			1		1						4
合計		3	5	2	5	6	6	5	5	2	9	6	3	57

(4) 月別利用者数

【説明】包括支援センターから再委託を受けていた利用者も重度化したり、再委託を受けている事によって、要支援から要介護となった利用者の紹介も増えている。

(単位:人)

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	R03年度	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	89
	R02年度	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	8	116
要支援2	R03年度	15	15	13	11	12	12	14	13	12	12	11	11	11	151
	R02年度	16	18	18	19	17	16	16	15	14	14	14	15	15	192
要介護1	R03年度	62	59	61	63	61	60	63	63	60	65	70	67	67	754
	R02年度	60	63	63	68	63	63	60	60	59	61	62	64	64	746
要介護2	R03年度	33	31	35	35	35	33	37	35	32	31	35	34	34	406
	R02年度	29	29	29	30	30	34	38	38	35	36	34	34	34	396
要介護3	R03年度	17	17	19	19	16	16	17	19	20	18	18	21	21	217
	R02年度	16	14	14	14	13	15	16	19	17	17	17	17	17	189
要介護4	R03年度	4	6	4	4	3	3	5	6	5	5	4	6	6	55
	R02年度	4	4	4	4	4	7	5	4	4	3	3	3	3	49
要介護5	R03年度	2	2	2	2	1	2	3	3	3	3	3	3	3	29
	R02年度	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	20
合計	R03年度	141	138	142	142	136	133	146	146	139	141	148	149	149	1,701
	R02年度	137	140	139	146	138	146	147	148	141	142	141	143	143	1,708

(5) 研修会等出席状況

内部研修のほか、「手稲区ケアマネジメント能力向上研修会」等の外部研修にズームにて出席した。
他居宅介護支援事業所との事例検討会の開催。

(6) 数値目標

(目標)ケアマネジャー1名の担当件数は要介護対象者30件(月平均120件)→(実績)担当件数30.2件(月平均120.8件)
‘ = 担当件数 +0.2件(月平均+0.8件) 達成

(7) その他

令和03年度特定事業所集中減算は前期、後期ともに指摘事項、減算なし。
介護支援専門員実習生の受け入れは要請がなかった。

20.札幌市菊寿園軽費老人ホームA型（定員50名）

(1)利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他	
男	8	最低	69	最高	94	平均	81.9	2	5	0	1	
女	24	最低	69	最高	98	平均	83.0	11	6	0	4	
計	32						平均	82.7	13	11	0	5

・平均在籍者数 32.6名 65.2% 平均介護度 0.87（参考：令和2年度 0.92）

(2)防災訓練実施状況

- ① 8月11日(昼間想定訓練) ② 11月30日(夜間想定訓練) ③ 2月25日～(資料配布による書面防災研修)

(3)行事・クラブの実施状況

- ① 定 例：ラジオ体操(午前・午後各1回)
② 季節行事：6月すき焼きの日(個別)、12月クリスマスランチ、2月鍋の日(個別)

(4)給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

- ① ご馳走の日、セレクト食等の実施
② ADL低下者に配慮した対応(時間前の誘導、配下膳の一部介助等)

(5)保健衛生

- ① 嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療。
② 施設内感染防止対策として、手洗い・うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ・手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者 に説明会を実施。
③ インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
④ 月1回の血圧測定、2ヶ月に1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
⑤ 薬の自己管理が難しい場合、カレンダー薬や配薬で対応。
⑥ 認知症、ADL低下者への一時的な対応（洗濯・掃除・入浴の一部介助）。

(6)職員研修実施状況

生活支援基礎研修(全軽協、オンライン開催)、養護・軽費・ケアハウス合同研修会(老施協、オンライン開催)、全国職員研究会議(全軽協、WEB会議)

(7)固定資産取得状況等

厨房ガスレンジ

(8)修繕・大規模改修等

2、3階床ひび割れによる塩ビタイル張替え工事、自動ドア部品(センサー、駆動装置等)交換工事、居室パネルヒーター用サーモヘッド他暖房機器修理工事 他

(9)その他

- ①アンケートによる満足度調査の実施

21.札幌市拓寿園軽費老人ホームB型(定員50名)

(1)利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		
		最低		最高		平均		入 所	退 所	慈啓会	その他	
男	10	最低	71	最高	85	平均	78.4	0	3	0	3	
女	29	最低	68	最高	90	平均	80.6	3	3	0	4	
計	39						平均	80	3	6	0	7

・平均稼働率 78.3%(毎月1日現在在籍数)

(2)防火訓練実施状況

・9月、3月の防災訓練は新型コロナウイルス感染予防の観点から北消防署の了解のもと中止した。

(3)行事・クラブの実施状況

・定例行事・クラブ活動・季節行事については感染予防のため中止した。

・その他

介護予防教室(月2回)、ふまねっと運動(月2回)、買い物ツアー(月1回、最寄りのスーパーまで)
(そのほか、屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会、日赤奉仕団園内清掃、児童との交流会
有朋高校生との交流会・夏祭りボランティア受入れ、屯田北児童会館の児童との交流会、
ふれあいの郷養護老人ホームとのゲートボール・カラオケ交流会、リンパマッサージ教室、
映画鑑賞会、健康歩こう会は感染予防のため中止)

(4)給食の実施状況

・なし

(5)保健衛生

- ・10月と3月の年2回、協力医(ふるや内科)で健康診断を実施した。
- ・新型コロナワクチンの1回目と2回目接種は、かかりつけ医や集団接種で行い、3回目接種は札幌市が実施する巡回接種を利用し、施設内で行った。
- ・要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に務めた。
- ・インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけて、協力医又はかかりつけ医にて実施した。
- ・新型コロナウイルスや食中毒等の感染症予防は、掲示物や書面配布等で啓発し注意喚起した。

(6)職員研修実施状況

・法人職員研修会等に参加

(7)固定資産取得・処分状況

・該当なし

(8)大規模修繕・改修

・ボイラーの部品交換等補修工事

(9)その他

- ・入居者アンケートによる満足度調査の実施:1月
- ・床ワックス清掃の実施(年2回)
- ・排水管清掃の実施(年2回)
- ・害虫点検(年2回)
- ・消防設備点検(年2回)
- ・感染予防対策として、外出から帰園後に玄関にてマスク交換を行っている。

22. 慈啓会老人保健施設(入所定員90名、通所定員40名)

(1) 利用状況等

【施設サービス】

在籍者数 (年度末現在)	年齢(年度末現在)			年度内入退所者		年度内入院者		平均介護度 (年度末現在)	
	最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	14	70	95	85.7	17	12	3	4	3
女	69	61	107	89.9	58	62	19	15	3.23
計	83				75	74	22	19	3.19

【短期入所療養介護】

在籍者数 (年度末現在)	年齢(年度内)		利用日数	
	最低	最高	利用人数	137
男	0	65	96	641
女	0	53	103	4.67
計	0			

【通所リハビリテーション】

年齢(年度末現在)	介護度	別利用回数	月												計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
男	65	92	支援1	4	3	2	0	1	5	0	0	0	0	0	0	15
			支援2	53	38	48	39	37	30	27	31	28	33	22	28	414
女	72	100	介護1	118	93	112	101	89	110	113	107	92	92	91	95	1,213
			介護2	123	92	106	113	123	128	132	129	123	92	86	108	1,355
男	326	2,578	介護3	33	19	20	33	34	44	40	42	39	37	39	53	433
			介護4	57	42	55	58	62	54	56	63	60	56	52	55	670
女	262	1,703	介護5	21	11	14	13	16	15	14	17	20	16	12	12	181
			計	409	298	357	357	362	386	382	389	362	326	302	351	4,281

(2) 防災訓練実施状況

①令和4年1月27日(旭ヶ丘地区合同防災訓練)※年2回実施だが、コロナ感染対応の関係で1回のみの実施

(3) 年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】誕生会、夏祭り、スイカ割、敬老会、おやつづくり、クリスマス会、新年会、豆まき、甘酒会(お雑様)他
【趣味活動】折り紙、書道、クイズ、手遊び、体操、ボール遊び、計算、塗り絵、紙風船パレー、モグラたたきゲーム 他

(4) 委員会及び会議

①生活向上12回 ②食事12回 ③感染予防15回 ④研修12回 ⑤安全推進11回 ⑥身体拘束ゼロ12回
⑦褥瘡予防12回 ⑧ケアプラン検討4回 ⑨苦情処理1回 ⑩衛生12回 ⑪虐待予防12回 ⑫経口維持ミーティング12回
⑬施設運営会議12回 ⑭管理者会議13回 ⑮フロア会議2回 ⑯介護報酬プロジェクト4回 ⑰ICTプロジェクト1回

(5) 給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 夕 18:00
・保温食器の導入等による適温適時給食の実施 ・特別食(治療食)の対応
・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化
・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等
・嗜好調査未実施・・・コロナ対策のため実習生受け入れできず、人手の関係から未実施
・セレクト食未実施・・・コロナ対策のため未実施

(6) 保健衛生

・毎食後の口腔ケアを継続
・新規入所時や感染症の疑いのある時は個室隔離等の感染対応を行ない、感染と拡大の防止に努めた。
・手洗いの励行(手洗い困難な利用者はアルコールウェットタオル使用)、手すり・テーブルの消毒(3回/日)、換気の実施
・コロナワクチン接種、インフルエンザ予防接種の実施と希望者に肺炎球菌ワクチン接種の実施
・気温・湿度の管理をしっかり行い、感冒等の流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、罹患者を最小限に抑えた。
・入所時、抗原検査を実施

(7) 職員研修実施状況

【施設外研修】

医療安全管理者養成研修(1名)、リスクマネージャー養成講座(1名)、介護報酬改定説明会(2名)、感染管理研修(1名)
新型コロナワクチン接種研修会(2名)、認知症の人の食べる喜びケア研修(1名)、看護管理者育成研修会(1名)
医療安全交流会(1名)

【施設内研修】

感染症研修(4回)、身体拘束研修会(2回)、虐待研修(4回)、褥瘡研修(1回)、安全・リスク管理研修(3回)、
役職者研修(1回)、メンタルヘルス研修(1回)、会計研修(2回)、人事考課研修(1回)、認知症研修(1回)

(8) 事故発生状況及びヒヤリハット

事故報告 : 58件(転倒 22件、外傷 11件、誤薬 10件、ずり落ち 4件 他11件。内 骨折事故 5件)
ヒヤリハット : 97件

(9) 苦情の状況等

計 1件

23. 慈啓会病院

I. 基本方針

法人理念及び当院の理念に沿った、地域の方々に信頼される病院をめざし、医療サービスの更なる向上と経営安定を図ることを目的に運営した。

II. 重点目標

診療報酬改定や地域包括ケアシステムなどによる外部環境変化への対応を求められていることから、急性期以後において、エリアNo.1の医療サービスを提供するためにPDCAを推進し、目標達成を目指して事業展開した。また、コロナ禍が継続している状況の中で、アフターコロナ患者を積極的に受け入れ、稼働と単価の増加に努めた。

1. 病院経営について

- (1) 外来収入は、内科・精神外来ともに予算達成したが、健康診断および人間ドックについては、9月の緊急事態宣言等を受けて検査を中止にしたため、件数が減少し予算未達となった。しかし、新型コロナワクチン接種を積極的に実施し9百万の収入増となった。入院収入は、稼働の低下をアフターコロナの受入れ等による単価の増加でカバーした。2月には精神科病棟で新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生した。患者、職員あわせて50名の陽性者が発生し、保健所の指導を受けながら感染防止対策に努め3月25日収束した。クラスターにより全館入院停止としたため稼働は減少したが、コロナ陽性患者治療による追加報酬のため、収入は予算を超えることができた。
- (2) 支出は、人件費については人材確保難が続いており、派遣や紹介料のコストが増加した。事業費については、マスク等診療材料の購入単価安定したため、備蓄量を減少させたが、上述のクラスター発生により一時的に使用量が増加した。光熱水費や燃料費は単価高騰により増加した。事務費は研修費や修繕費が減少した。
- (3) 収支については、外来・入院ともに予算を達成するとともに、コロナ補助金24百万などもあり、経常増減差額で対予算プラス47百万円となった。
- (4) コロナ禍が継続している中、安心して来院していただける環境を整備するため、外来看護師によるトリアージを継続している。また、9月にPCR検査装置を導入し、迅速な診断とスムーズな入院が可能になった。

2. 収支状況について

(1) 各診療科別外来診療費収入

種別	2021年度予算		2021年度実績		予実差	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
内科外来	5,160	33,540	5,068	34,537	▲ 92	997
精神科外来	540	2,430	557	2,629	17	199
健診・ドック	3,582	21,480	3,703	20,831	121	▲ 649
予防接種	1,998	6,771	6,002	16,363	4,004	9,592
施設外来	19,620	44,244	20,526	48,101	906	3,857
その他	1,304	5,574	1,879	6,785	575	1,211
合計	32,204	114,039	37,735	129,246	5,531	15,207

(2) 病棟別入院診療費収入

病棟	2021年度予算		2021年度実績		予実差	
	稼働(床)	金額(千円)	稼働(床)	金額(千円)	稼働(床)	金額(千円)
2F	42.0	380,536	39.7	387,109	▲ 2.3	6,573
3F	34.0	403,443	29.7	379,579	▲ 4.3	▲ 23,864
4西	41.0	316,306	39.8	322,102	▲ 1.2	5,796
4東	42.0	268,942	38.5	267,461	▲ 3.5	▲ 1,481
5F	50.0	283,116	49.7	310,197	▲ 0.3	27,081
過誤査定	--	▲ 540	---	▲ 487	--	53
合計	209.0	1,651,803	197.4	1,665,961	▲ 11.6	14,158

(3) 収支

(単位:千円)	2020年度実績	2021年度予算	2021年度実績	前年度差	予算差
サービス活動増減差額	137,895	59,575	106,634	▲ 31,261	47,059
経常増減差額	148,811	70,442	117,661	▲ 31,150	47,219

3. 患者サービスについて

- (1) 食事療養サービス対策は、行事食を積極的に実施するとともに各病棟で季節にあった食事提供や患者状態に適合する栄養剤を協議・選択して対応した。
- (2) 感染対策により患者面会が原則禁止となったため、アクリル板越し面会や一部タブレットを使用しての面会を実施した。また、看護師長の手書きのコメントを添えた患者の写真をご家族に送付している。
- (3) ナースコール設備は設置後16年経過していることから、各部件の経年劣化による通信障害が複数回発生しているため、更新整備をおこなった。

24.啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況(90名定員)

	在籍数	入所率(%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上
4月	89名	98.8	6名	29名	19名	35名
5月	89名	98.8	6名	29名	19名	35名
6月	93名	103.3	8名	31名	19名	35名
7月	94名	104.4	9名	31名	19名	35名
8月	94名	104.4	9名	31名	19名	35名
9月	94名	104.4	9名	32名	18名	35名
10月	94名	104.4	9名	32名	18名	35名
11月	95名	105.5	9名	32名	18名	36名
12月	97名	107.7	10名	33名	18名	36名
1月	97名	107.7	10名	33名	18名	36名
2月	98名	108.8	11名	33名	18名	36名
3月	99名	109.9	12名	33名	18名	36名

(2) 防災訓練実施状況

- ・ 園児、職員による避難訓練(通報、消火訓練は毎月実施、地震、洪水、不審者想定も含む)を計画し実施。
- ・ 総合避難訓練は模擬通報、職員消火訓練実施。泣き入りひきつけ職員訓練も行う。

(3) 行事の実施状況

- ・ 新型コロナウイルス感染状況により延期、中止になった行事もあったが出来る範囲内で実施できる行事は保護者の協力、理解を得て行った。

【定例行事】

- ・ 新型コロナウイルス緊急宣言時、誕生会等は縮小実施、歯科健診は延期し7月実施、園医健診は通常通り実施。

【季節行事】

- ・ 春の遠足(弁当は園内)実施、お祭りごっこ縮小延期(7/8)、運動会緊急宣言で中止、5歳児のみ参観日実施生活発表会は各クラス入れ替えで実施、バス遠足延期(10/6)、卒園式はまん延防止感染発生の為延期

【その他】

保護者出席の個人懇談は6月末から7月初、保育参観0歳から4歳は中止、観劇、交通安全教室、連携保育園との交流中止、七夕、クリスマス、ひな祭り、お別れ会は縮小、豆まきはコロナ感染者発生で休園の為中止
 年長児の園外保育は藻岩山ロープウェイ登山(10/12)に延期、サンピアザ水族館見学はまん延防止解除後(3/20)延期、マスク着用で公共交通機関を使い実施。特養さんとの交流会は昨年に続き中止。

(4) 給食の実施状況

- ・ 札幌市の献立を基に園児に提供、アレルギー児は医師の診断を得てアレルギー食提供。(卵、小麦、胡麻、キウイ)
- ・ 給食便り発行。子ども達に人気のあるもの、季節の食材によるメニューの紹介。
- ・ 子ども達が意欲的に食に関われるよう、プランターで野菜を育てる(各年齢)、コロナ禍で工夫し食育手洗い、スプーン、箸の持ち方、とうきび皮むき実施、幼児トング取り分け、バイキング中止は継続。

(5) 事故発生状況

目じり裂傷(1件)、草かぶれ(2件)、打ち身(2件)、鼻の中に米混入(1件)、擦過傷(4件)
 目に石鹼液混入(1件)、歯茎の裂傷(1件)

(6) 保健衛生

- ・ 新型コロナウイルス2/2保育士1名感染、2/3休園(濃厚児把握の為)45名程自宅待機。その後3月中旬迄、保育士3名、園児6名感染、3月下旬より登園園児数増加、感染予防の見直し、徹底を実施。
- ・ 6月溶連菌感染症3名、突発性発疹、パラインフル、2月初旬から3月末迄RSウイルス18名罹患。

(7) 職員研修実施状況

- ・ キャリアアップ研修オンラインで実施、他私保連研修、保護者対応、小学校へのつながり。
- ・ 自然物を保育に活かす、小学校への接続、絵本、音楽の役割、気になる子への対応、発達障害研修受講。
- ・ 私保連研究大会(廃材使用の造形、生活の基盤となる子どもの発達)・園内研修(異年齢保育について)

25.中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

○中央区第2地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	52	55	45	41	49	75	70	71	70	67	44	64	703

(2)会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	13	
個別地域ケア会議の準備会	18	
地区地域ケア会議	1	
地区連絡会議	9	
区地域ケア推進会議	1	
区連絡会議	13	
市地域ケア推進会議		2
①②以外のケース検討会議	3	0
運営推進会議等		13
介護支援専門員連絡協議会		1
地区組織との連携	1	6
医療機関との連携	0	0
主任介護支援専門員との連携	4	3
その他関係機関との連携	22	4
生活支援コーディネーター等との連携	2	1
合計	87	30

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1)登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	867	861	866	866	860	866	862	870	901	887	901	879	
解約者数	8	7	8	12	9	20	12	9	5	12	14	17	133
未利用者	125	137	138	132	144	144	142	146	161	157	197	173	

(2)給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	8	7	8	15	9	20	18	13	24	23	14	24	183
継続利用数	734	717	720	719	707	702	702	711	716	707	690	682	8,507
合計	742	724	728	734	716	722	720	724	740	730	704	706	8,690

(3)活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議：17回 ② 研修会参加者数：15回/27名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コアメンバー、初動期評価、ケース、評価)：15回 ④ 研修会開催・講話：12回

全体のまとめ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大期にはサービス利用を控える方も多くなり、改善傾向が見られるようになると利用を再開する方が増えるという傾向がみられたが、コロナ以前の利用者数までは回復しなかった。
- ・個別地域ケア会議は、開催目標件数が12回の中、前年令和2年度が6件の開催のみとなった反省を踏まえ、感染拡大期には会議の開催を中止することとなったが、1年を通してコンスタントに会議の開催をすることができて13件の開催に至った。
- ・外部研修や関係機関との各種打ち合わせについてはZOOMを活用して参加・実施することができたものの、町内会や民生委員など地域関係者との会議や活動については、コロナの影響により開催できなかったものが多くあった。

26.中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

○中央区第3地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	76	1	2	3	合計
件数	89	62	71	70	76	83	99	99	76	73	63	80	941

(2)会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	20	
個別地域ケア会議の準備会	5	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	12	
区地域ケア推進会議	6	
区連絡会議	10	
市地域ケア推進会議		1
①②以外のケース検討会議	2	0
運営推進会議等		7
介護支援専門員連絡協議会	2	4
地区組織との連携	0	9
医療機関との連携	19	0
主任介護支援専門員との連携	2	3
その他関係機関との連携	33	5
生活支援コーディネーター等との連携	1	1
合計	115	30

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1)登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	1,056	1,046	1,047	1,053	1,042	1,062	1,077	1,092	1,108	1,112	1,093	1,093	
解約者数	20	16	17	27	22	22	19	17	19	33	25	13	250
未利用者	127	125	146	135	123	125	124	127	132	166	171	137	

(2)給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	26	24	15	30	21	30	38	39	38	20	23	23	327
継続利用数	903	897	886	888	898	907	915	926	938	926	899	933	10,916
合計	929	921	901	918	919	937	953	965	976	946	922	956	11,243

(4)活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議 22回 ② 研修会・参加者数 1回/ 3名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コアメンバー、初動期評価、ケース、評価) 2回 ④ 研修会開催 12回

全体のまとめ

- ・介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における登録者・継続利用者数は、新型コロナウイルス感染状況により増減があったため11,243件と目標より127件少なかった。前年度比では増加している。
- ・地区活動は、イベント・各種教室など中止や延期を繰り返し予定どおりに行えなかったが、個別地域ケア会議は21回開催でき、複雑困難な問題を抱える高齢者支援や地域課題の把握に効果的であった。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議や研修会はオンラインによるものが多いことから、職場内で操作方法を学び合い全職員が活用できるようになり、認知症サポーター養成講座や居宅介護支援事業所向けの研修会などを開催することができた。
- ・例年同様曙地区において、地域包括支援センターなどの相談窓口を周知するため、関係機関とともに「曙福まちほのぼのカレンダー」を作成し、独居高齢者や曙地区見守りサポーター協力店等へ配布した。
- ・独居や認知症などにより支援を要する高齢者が増加しており、山鼻地区では新たに調剤薬局との連携構築に着手し、アンケートや交流会の実施により情報共有や今後の連携などについて協議することができた。

第2. 処務の状況

1. 役員及び評議員に関する事項（令和3年度末現在）

（1）理事及び監事（理事定数6・監事定数2）

	氏名	所属および職名	就任年月日	任期満了年月日	最初の就任年月日
理事長	太田 眞琴	宗教法人 新善光寺 代表役員 住職	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	H3. 6. 2
専務理事 (常勤)	今 真一	社会福祉法人札幌慈啓会	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	R3. 6. 21
理事 (常勤)	東出 俊之	社会福祉法人札幌慈啓会 慈啓会病院院長	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	H21. 4. 1 (評議員 H20. 2. 1)
理事	佐藤 源五郎	(株)マルゲンビル 代表取締役社長	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	H17. 4. 1 (監事 H4. 11. 23)
理事	太田 真海	宗教法人 新善光寺 副住職	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	H24. 11. 23 (評議員 H21. 4. 1)
理事	樋爪 昌之	税理士法人 ひづめ会計 代表社員	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	R1. 6. 19 (監事 H17. 4. 1)
監事	堀内 和紀	宗教法人 善道寺 住職	R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	H26. 2. 26
監事	山田 肇		R3. 6. 21	定款第20条 第1項適用	R1. 6. 19 (評議員 H26. 11. 23)

（2）評議員（現員10名。評議員定数7～10名）

	氏名	所属および職名	就任年月日	任期満了年月日	最初の就任年月日
評議員	片山 浄教	宗教法人 浄土宗天徳寺 前住職	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H16. 5. 26
評議員	植田 英隆	株式会社りんゆう観光 相談役	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H22. 2. 24 (評議員) (H6. 11. 23)
評議員	熊谷 明也	マンション経営	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H6. 11. 23
評議員	佃 公子		R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H6. 11. 23
評議員	藤岡 弘昌		R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H22. 2. 24
評議員	寺井 孝典	社会福祉法人 徳風会 養護老人ホームかるな和順 施設長	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H24. 11. 23
評議員	佐々木 琢至	司法書士・土地家屋調査士 ささき事務所	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H26. 11. 23
評議員	小村 知江子	新善光寺明照婦人会 副会長	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	H29. 4. 1
評議員	中田 大信	浄土宗 藻縁山 観音寺 住職	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	R3. 6. 21
評議員	宿谷 英樹	学校法人 新善行寺学園 白石幼稚園 副園長	R3. 6. 21	定款第7条 第1項適用	R3. 6. 21

2. 職員に関する事項（令和3年度末現在）

（1）主要職員

氏名	役職（主な兼務職）	職務	採用年月日	備考
今 真 一	法人本部事務局長（法人専務理事）	法人事務局の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H27. 4. 1	
東出 俊之	慈啓会病院 院長（法人理事）	病院業務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H12. 5. 1	
笠井 和人	法人本部 総務部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H17. 4. 1	
笹本 守行	法人本部 財務部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R3. 3. 1	
谷口 俊弘	法人本部 福祉部長兼経営企画部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H15. 4. 1	
小関 礼嘉	法人本部 事業部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R2. 4. 1	特別契約職員
能代 篤幸	慈啓会養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	
川島 志緒里	慈啓会ふれあいの郷 養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S56. 4. 1	特別契約職員
前川 恭子	慈啓会特別養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H13. 4. 1	特別契約職員
福士 友将	慈啓会特別養護老人ホーム 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	H10. 4. 1	
新名 規正	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	
嶋 正人	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	H6. 4. 1	
岩田 康孝	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	R2. 4. 1	特別契約職員
蝦名 真	札幌市菊寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 4. 16	
石原 公男	札幌市菊寿園 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	H28. 4. 1	特別契約職員
阿地 俊弘	札幌市拓寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H31. 4. 1	特別契約職員
垣内 英樹	慈啓会老人保健施設 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 5. 1	
道林 松美	慈啓会老人保健施設 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	S63. 5. 1	
木村 裕一	慈啓会病院 副院長 （内科担当）	院長を補佐し 病院業務を整理する	H25. 1. 1	
片村 能也	慈啓会病院 副院長 （精神科担当）	院長を補佐し 病院業務を整理する	H12. 4. 1	
金子 哲也	慈啓会病院 事務長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	
奥村 美貴子	慈啓会病院 看護部長	看護部の業務を司り 所属職員を指揮監督する	H6. 11. 1	
品田 聡美	啓明ともいき保育園 園長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H26. 10. 1	
鎌田 宏典	札幌市中央区第2地域包括 支援センター センター長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H10. 4. 1	
澤田 さとみ	札幌市中央区第3地域包括 支援センター センター長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R2. 4. 1	特別契約職員

(2) 職員数 計640名(令和3年度末)

<内 訳(単位:名)>

○雇用区分別 正職員404/特別職員23/嘱託職員28/ほか契約職185
(正職員比率63.1%)

○勤務形態別 フルタイム勤務517/パートタイム勤務123

○性別別 男性174/女性466

○職種別 医師15/看護職150/コメディカル32/看護補助42/
介護職222/相談職75/保育士25/事務職48/その他31

3. 役員会に関する事項(R3.4.1~R4.3.31)

(1) 理事会

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
<p>令和3年度第1回理事会</p> <p>令和3年6月2日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 専決処分事項承認</p> <p>議案第2号 事務取扱規程一部改正</p> <p>議案第3号 令和2年度補正予算(第3回)</p> <p>議案第4号 令和2年度事業報告</p> <p>議案第5号 令和2年度決算承認</p> <p>議案第6号 令和3年度補正予算(第1回)</p> <p>議案第7号 夏季手当支給割合</p> <p>議案第8号 理事候補者推薦</p> <p>議案第9号 監事候補者推薦</p> <p>議案第10号 評議員選任解任委員会の開催および評議員候補者推薦</p> <p>議案第11号 定時評議員会開催</p> <p>報告第1号 令和2年度決算監査報告</p> <p>報告第2号 令和2年度第4四半期職務執行状況報告</p> <p>報告第3号 社会福祉充実計画の件</p>	<p>可決</p>
<p>令和3年度第2回理事会</p> <p>令和3年6月21日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席5名・欠席1名 監事 出席1名・欠席1名</p>	<p>議案第1号 理事長、専務理事、病院長の選任</p> <p>議案第2号 評議員選任解任委員の選任</p> <p>報告第1号 定時評議員会決議結果報告</p> <p>報告第2号 評議員解任専任委員会決議結果報告</p>	<p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和3年度第3回理事会</p> <p>令和3年8月30日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 専決処分事項承認</p> <p>議案第2号 専決処分事項指定</p> <p>議案第3号 事務取扱規程一部改正</p> <p>議案第4号 評議員選任解任委員会運営規程一部改正</p> <p>報告第1号 令和3年度第1四半期職務執行状況報告</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>

<p>令和3年度第4回理事会</p> <p>令和3年11月24日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 専決処分事項承認 議案第2号 専決処分事項指定 議案第3号 就業規則・給与規程・契約職員就業規則・ 契約職員給与規程一部変更 議案第4号 経理規程一部改正 議案第5号 冬季手当支給割合の件 報告第1号 令和3年度第2四半期職務執行状況報告 報告第2号 令和3年度決算見込（第1回）</p>	<p>可決 可決 可決 可決 可決</p>
<p>令和3年度第5回理事会</p> <p>令和4年2月21日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席6名全員 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 専決処分事項承認 議案第2号 規程改正（再雇用規程の改正・人事考課規 程の改正） 議案第3号 令和3年度補正予算案（第2回） 議案第4号 人事案件 議案第5号 理事候補者推薦 議案第6号 臨時評議員会開催 報告第1号 令和3年度第3四半期職務執行状況報告 報告第2号 令和3年度決算見込（第2回）</p>	<p>可決 可決 可決 可決 可決 可決</p>
<p>令和3年度第6回理事会</p> <p>令和4年3月28日14時 テレビ会議</p> <p>理事 出席5名・欠席1名 監事 出席2名全員</p>	<p>議案第1号 給与規程の改正 議案第2号 育児介護休業および育児介護短時間勤務に 関する規則の改正 議案第3号 役員賠償責任保険の加入 議案第4号 令和4年度事業計画案 議案第5号 令和4年度予算案 議案第6号 業務執行理事の選任 報告第1号 臨時評議員会決議結果報告 報告第2号 慈啓会老人保健施設経営コンサルティング 最終報告</p>	<p>可決 可決 可決 可決 可決 可決</p>

(2) 評議員会

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
<p>令和3年度定時評議員会</p> <p>令和3年6月21日 書面によるみなし決議</p> <p>評議員 同意9名全員</p>	<p>議案第1号 令和2年度事業報告 議案第2号 令和2年度決算承認 議案第3号 新理事の選任 議案第4号 新監事の選任 報告第1号 令和2年度決算監査報告 報告第2号 社会福祉充実計画</p>	<p>可決 可決 可決 可決</p>
<p>令和3年度臨時評議員会</p> <p>令和4年3月28日 書面によるみなし決議</p> <p>評議員 同意10名全員</p>	<p>議案第1号 新理事の選任</p>	<p>可決</p>